

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター
診療材料・医薬品等 SPD 業務委託に関する
公募型プロポーザル特定結果について

横浜市立大学附属市民総合医療センター管理部経営企画課物品管理担当では、「公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター診療材料・医薬品等 SPD 業務委託」について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定しました。

平成 30 年 12 月 13 日までに 3 社から応募があり、平成 30 年 12 月 20 日に「公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター診療材料・医薬品等 SPD 業務委託に関するプロポーザル評価委員会(以下、評価委員会)」を開催し、評価基準に従って提案内容を評価しました。

評価委員会での評価の結果を受け、横浜市立大学附属市民総合医療センター第一契約審査会(平成 31 年 1 月 10 日)で、受託候補者をつぎのとおり特定しました。

1 約定の締結に係る受託候補者

協和医科器械株式会社

2 評価結果

	提案者	評価点数
1	協和医科器械株式会社	1,763/2,250
2	A社	1,331/2,250
3	B社	1,256/2,250

※評価委員は、9名

※評価委員会事務局：管理部経営企画課物品管理担当

3 評価基準

評価項目	評価配点	評価のポイント
SPD 業務運営の基本的考え方	20	<ul style="list-style-type: none">提案内容は、仕様書の内容と合致しているか。診療材料等の購入、在庫管理、回収搬送等の業務の一元化を、効率的・効果的に行える物流システムを構築しているか。
診療材料等の調達	30	<ul style="list-style-type: none">購入単価の低減、同種同効品の統一など、実現可能な経費削減の提案となっているか。受託者に所有権がある預託在庫方法の対象が、定数管理診療材料、院内倉庫在庫など、どのような範囲に及んでいるか。必要最小限の調達を行い、在庫スペースの増や直納品の消費期限切れに繋がらないようにしているか。
院内物流管理業務	160	<ul style="list-style-type: none">搬送計画や方法、人員体制について、確実に履行可能な内容となっているか。定数管理、在庫管理、期限管理等について、確実に履行可能な内容か。

		<p>(手術室・血管撮影室、内視鏡室、透視室等について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術に支障のないよう、適切に発注、補充、管理を行える体制となっているか。 ・患者ごとに使用したすべての診療材料を把握し、データベース化する仕組みを構築しているか。また、運用の実績があるか。 ・使用した診療材料のデータと医療費の請求データを比較・確認するなど、請求漏れの防止に繋がる提案内容となっているか。また運用の実績はあるか。 ・使用した診療材料のデータと電子カルテ等の連携に向けて、データの提供や関係者間の調整など柔軟な対応を行える内容であるか。また運用の実績はあるか。 ・ピックアップリストの見直し、診療材料の標準化、不動態在庫の減について、実現可能な提案内容となっているか。また運用の実績はあるか。
自由提案	10	自由提案は実現可能で、当院に有益なものであるか。
その他(他院での業務実績、人員体制、提案金額)	30	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の病床数、手術件数を把握し、履行可能な知識や実績を備えているか。 ・本業務の遂行に必要な要員の配置ができているか。 ・管理・バックアップ体制及び研修体制は適切か。 ・委託料の年間概算見込額

※配点は審査員1名あたりの点数：合計250点

※満点：250点×9名=2,250点